



「ユニクロ」を読む

「現実の延長線上に目標を置いてはならない」「こいつはアホじゃないかと思われるような非常識な目標・これがイノベーションのもとになる」時代の変化を傍観するのではなく、今手の中にあるものの、はるか先にあるもの、周囲からは「アホやないか」と思われるくらいのことを考え行動に移せ！

この度、札幌の会議に出席する機会を得ました。道中、飛行時間や待合の時間がまあまあありましたので、新しく刊行された「ユニクロ」という本を読みました。日本経済新聞社から発行されている本です。読みやすいので、この旅行中に半分位読みました。その内容の濃さに夢中になり、思わず涙を流しながら読みました。当社も小粒ながらイノベーションに取り込んでおり、強い志をもってやりとげたいと思います。



代表取締役社長 寺河 駿

介護職員初任者研修開講！

六月十九日、昨年に続き全自社講師による介護職員初任者研修を新居浜教室を皮切りに開講しました。



今回の参加者は、社員三名、外部からの受講生二名で、内一人の入社が内定しました。介護保険制度はどんどん専門性を求めており、介護福祉士の重要性が高まってきました。その第一歩としての研修となり、今年もスキルアップと資格取得を目指して受講生・講師一丸となって暑い夏を熱い思を込めて乗り切ります。



G H かざはやオープン！！

七月一日から「グループホームかざはや」(愛媛県松山市中西内四六九)の運営を悠遊社が行うことになりました。



当施設は高縄山の西の裾野にあり、周囲を田畑に囲まれた閑静な地域にあります。松山中心部からは車で三〇分少々かかりますが、旧北条市エリアの皆様にとっては生まれ育ち生活した故郷であり、変わらない景色の中で穏やかな日々を送る事ができます。



梅雨空のもと田植えが始まりました。高縄山は雲の中に隠れています。

今回施設のオープンに併せて居宅介護支援「松山居宅」の事務所も当地へ移転いたします。しばらくはご不便をおかけすることもあるかと思いますが、今後とも宜しくお願い申し上げます。

文書作成の基本

広報担当

皆さんは文章を書く時にどのように書かれるでしょうか。毎月新聞の原稿や写真を頂いて記事としてまとめるのですが、写真だけで詳細がわからないものや「5W1H」が抜けていて掲載する時に大幅な修正や加筆が必要となることがあります。最低でも「いつ」「どこで」「だれが」「なにをした」がなければ、人に話を伝えることはできません。もちろん「なぜ」や「どのようにして」という記事があれば、さらにもっと詳しい記事となります。

新聞の記事は物語を作るときのように「起承転結」のような工夫は必要がなく、事実をありのまま人に伝えるということが基本です。もちろんそのなかには比喩を使ってみたりオブラートに包んだ表現なども大切ですが、そのあたりは編集時にフォローさせていただきます。

写真を見て「○○上旬」のように緩く追記することもあります(笑)

その他にも業務で稟議書や報告書などの文章を作ることがありますが、特に報告書などでは「5W1H」は重要で、これらが欠落してしまうと、報告すべきことが報告できないことになってしまいます。新聞の原稿のように誰かが書き加えたり修正したりはできませんので、より文章の制度が求められます。



「七月誕生日職員」

福利厚生の一環として正社員10,000円・パートさん5,000円の誕生日お祝い金を支給いたします。

- G H あんど 山本 一美・村上 祐子・本間 まゆみ/あすなろチヨの里 山口 三佳/デイこぶしの花 三好 環/デイさくら 真鍋 智恵子/有料ひまわり 松村 夕莉/住んで民家 近見 阿部 夏子/経理課 佐伯 善一郎/小規模ゆうゆう 松田 賢輔/デイゆうの季節 藤原 美穂・横山 俊翔/ゆうゆう三島 定岡 智子/G H 重信の郷 岡崎 尚之・宮岡 陽子/ゆうゆう春日 木村 清子/デイゆうゆう 山口 智文/有料ゆうゆう 國澤 豊子・菅能 浩二・越智 貞夫/ゆうゆう針田 ゲン ユイダット/ゆうゆう東石井 福浦 光・月原 浩/東石井訪問 井口 かすみ/ショートゆうゆう大洲 小西 由美/デイゆうゆう大洲 坂本 夏希/ゆうゆう土居 浜田 美保/ゆうゆう南斎院 片岡 雄貴・河野 サヨコ/G H 市宮野球場前 チューテイ 一タオ/G H 優瑠里 山下 美紀/ゆうゆう北条 山本 紀 美江/G H 優輝 高木 仁美・ゲン ティイ ニュー/出向者 TP 加藤 敬子



令和六年六月一日から六月五日まで、有料老人ホームと合同で、五班に分かれて、さぬき市の「亀鶴公園 花しようぶの里」に菖蒲見学に行きました。



新型コロナウイルス感染症の影響もあり、久々の外出です。菖蒲やアジサイの花を観ながら、皆さまそれぞれのペースで園内を散策し記念撮影。少し休憩し、ジュースを飲んで帰ってきました。



今年は菖蒲の開花が遅れてまだ咲き始めでしたが、天候にも恵まれ、楽しい一日を過ごすことができました。

グループホーム市営野球場前は、今年の三月一日にオープン致しました。



日当たりもよく、敷地面積も広く、入居者様も散歩や外気浴に適した場所となっております。施設の名称からもわかるように、真ん前は新居浜市営野球場で、フェンス越しに試合を見ることが出来ます。新居浜の人が暮らしていた場所、慣れ親しんだ環境をそのまま引き継いだ「我が家」として生活することが出来ます。



そんな、わくわくいっぱいばいの当施設にフィリピンから来日した四名のスタッフが配属となりました。みなさん元気いっぱい笑顔がとても素敵です。職員みんながフィリピンの四人組から日々パワーをもらっていて、面会に来られたご家族からも「丁寧で優しく素敵なお顔ですね」とお褒めの言葉をいただいております。

ケン：日本にて介護の勉強を習得したいです！

アリス：家族への感謝の気持ちをお忘れず日々介護の仕事に努めていきたいです！

ピジ：日本食がとても美味しいので日本在中の中で色々な食事を楽しみたいです！

リコ：スポーツ活動にも参加して、介護福祉士試験にも挑戦します！



オープンしてまだ日も浅い施設ですが、スタッフが笑顔絶やさず、利用者様に素敵な日々をお待たせいただこう、がんばっています。

皆さん近くにいられた際にはお気軽にお越しくださいね。職員一同お待ちしております。



重信の郷の玄関周辺にはこの時期になると毎年、紫陽花が綺麗に咲き始めています。日々のレクリエーションで日光浴を行った際には「綺麗ななあ。」と言われたり「私の部屋にも下ささい。」と言われ、1輪居室に持ちかえられた方もおられます。



また別の日のレクリエーションで散歩に行った時には「風が気持ちええなあ」「やつぱり、外は気持ちええなあ」と言われている会話を聞き自分たちスタッフにとっては当たり前の、さりげない日常でも入居者様にとつては、すぐに忘れてしまおうとしてもその時、その瞬間がかげがえのない大切な時間なんだなと考えさせられる事が多くあります。

本心は家に居たくてもいいない。ならばせめて、一回でも多笑顔になつていただき、ほんの少しでも『入所したのがここのよかつた』と思つて頂けるようになれるように日々の業務を行つてまいります。

今年の梅雨は水不足に悩む中予でも降水量が多く、先日石手川ダムへ放水の様子を見に行きましたが、ダムの中は例年になく満杯の貯水量でした。

さて、じめじめとした蒸し暑い日が続きますが、この時期は健康だけでなく食事にも気を付ける必要があります。なぜなら、気温が高くなり湿度が高くなると食中毒が発生しやすくなります。この時期はカンピロバクター・ブドウ球菌・ウェルシュ菌には特に気をつける必要があります。調理後の周辺の温度管理や調理器具の殺菌や保管などにも気を配る必要があります。

具体的には調理前の食材の保管温度や調理中に生肉と生野菜を同じまな板で調理したり、触った手を洗わないで交互に触るなどは基本的にやっつてはいけないことで、できるだけビニール手袋を装着して、作業ごとに新しいものを使つてください。

そのほかに重要なことは、調理後の配膳と提供までの温度管理がぬかっていると食中毒が発生することがあります。調理後は提供までは湿度80%以下、温度は25℃以下に保ち、できるだけ早く提供する事が大切です。

たまに「今食べたくない」等で居室や詰め所等で食事をそのまま置いてあるのを見かけますが、これは絶対にやっつてはいけない行為です。

今一度作業工程の確認と衛生管理の徹底をお願いいたします。

今月は原稿の投稿が少なく、枠を埋めるのが大変でしたがなんとか発行にこぎつけました。当番表は一月以上前から掲載して、新聞発行の案内では毎月月初めに翌月の担当をお知らせしてあります。締め切りまでに一五日ありますが、その間にイベント等がない時期だと書くことがないと思われるかもしれませんが、日々の小さな事、リレーションやハビリ、そしておやつなどの写真と掲載文章で、一棹（一段）を埋めるのは難しいことでは有りませんが、ぜひ原稿をお送りいただきますよう、重ねてお願いいたします。

投稿は必ず「全社共有2」の指定フォルダの中に、「施設名のフォルダ」を作り、その中に写真と文章を別々に入れてください。写真がない場合は文章だけでもかまいません。写真だけはご遠慮ください。

まもなく梅雨も明けると思いますが、今年もまた暑い夏がやっつきそうです。健康管理に気をつけて乗り切りましょう。



発行 株式会社悠遊社
編集 広報担当
連絡先 愛媛県松山市余戸南
二、二四、三十八

電話 〇八九九六五一九九〇
連絡先 koho@viusya.co.jp
配布 毎月一日(基準日)